



こころのねっこ
明日も
きっといい1日!



● この冊子、私立幼稚園・こども園に関するお問い合わせ

モバイルサイトは
こちらから



公益社団法人 京都府私立幼稚園連盟 親子関係研究所

〒600-8424 京都市下京区室町通り高辻上る山王町561番地 京都私学会館内

TEL: (075) 344-0771 FAX: (075) 344-4177 HP: www.kyoshiyoh.com/renmei/

発行日/2024年6月

京都府私立幼稚園連盟

検索



* cocoro no nekko * Vol.8

子どもがまんなかの社会の実現をめざして

こころのねっこ

イントロ

こころのねっこを育てよう。

特集 かわいい子には旅をさせよ!!! <アカチャンクエスト>

AKACHAN QUEST

人の育ちを木にととえると…

乳幼児期は、ねっこが育つ重要な時期です。

座談会

海外から見た京都の幼稚園・
こども園、実際に通ってみて
どうですか?

アンケート

園で働く先生に
聞いてみました!
あんなこと、こんなこと



フォト特集

子ども目線で見える世界!?
子どもが撮った&大人が撮った写真



京都の私立幼稚園・こども園の子育て情報誌



こころのねっこを 育てよう。

生まれて間もない赤ちゃん、何かをしようとしているその姿、
「もう一回」「ママ見てー」「パパあのね」などなど、
子どもとの暮らしのなかにある日常は、
私たち大人に幸せをもたらしてくれます。子どもがいること、
自分(親)を愛してくれる存在が目の前にいてくれることは、
かけがえのないことです。

子育ては幸せや楽しさと共に心配や大変なこともたくさんあり、
悩んだり迷ったりしながらの日々です。しかし、悩むということは
子どものことを大切に考え、一生懸命子育てをしている証拠です。

子どもとともに生活している今日はいいな、素敵だなと思って、
目の前の子どもの暮らしを楽しみ、
子どもの小さな成長を大きく喜び過ぎていけば、
春が来ると草木や花が芽吹くように、子どもの成長とともに、
自分自身もかならずひとまわり大きく成長しています。

子ども達は一人ひとり違う個性を持ち、
思考も行動も育ちのペースも様々です。
先々の心配をしすぎないで、子どもとともに過ごす
親子の「いま」を大切に。
そのことがその子の人生の養分を蓄える
「こころのねっこ」を育むことになります。



かわいい子には、旅をさせよ

アカチャンクエスト

ヒトの赤ちゃんは、他の動物と比べて運動機能が未熟な状態で産まれてきます。けれども、何もできない訳ではありません。そんな赤ちゃんの育ち=冒険と一緒に旅してみましょ。

クエスト 7.

産まれた時から かかわってほしい!!

赤ちゃんの最初のクエスト(すべきこと)は、“養育を引き出すこと”です。赤ちゃんは、大人に身の回りの世話をしてもらわないと生きていけません。そのために赤ちゃんは、非常に優れた“感覚機能”を持って産まれてきます。

赤ちゃんの能力

声の識別

- 人の声が好きで、人工音(TVやネットメディア)を区別する
- 胎児からの記憶があるので、母親の声を認識することができる

ほほ笑む

- ほほ笑みを浮かべる(生理的微笑)
- まだ感情はありませんが、これが親子の情緒的な絆のきっかけです。



言葉の識別

- 言葉と音を区別することができる
 - 赤ちゃんが好む話し方『マザリーズ*』がある
- *やや高めめのトーン、抑揚のある話し方、ゆっくりとしたテンポ、赤ちゃんの反応を待つ“間”のこと。

顔の識別

- 母親の「顔」がわかる
- 「顔のマーク」が好き
- 口を開けたり、べ口を出したりなど真似をする

赤ちゃんは、親からの“かかわり”を引き出すために様々な力を持っています。コミュニケーションを取るきっかけをくれるので、積極的に赤ちゃんのコミュニケーションに応えてみましょう。私たちの関係は“かかわる”ようにできているのです。

クエスト 2. 「この人が好き!」を覚え、「知らない人」が分かる 人見知り

赤ちゃんは生後6か月頃から「親しい人」と「親しくない人」を区別できるようになります。これが、“人見知り”で、クエスト1のクリア(赤ちゃんが「親しい人」として認識した)の証拠です。つまり、人見知りは信頼関係の始まりなのです。

感情の読み取り

9か月を過ぎたころから、親が見る方向と一緒に見たり、【共同注意】親の反応や表情を見て、行動の手がかりにします。【社会的参照】



快・不快の共有

喜怒哀楽を使って、自分の快(楽しい!気持ちいい!)と不快(嫌だ!気持ち悪い!)を“意図的に”表現できるようになります。

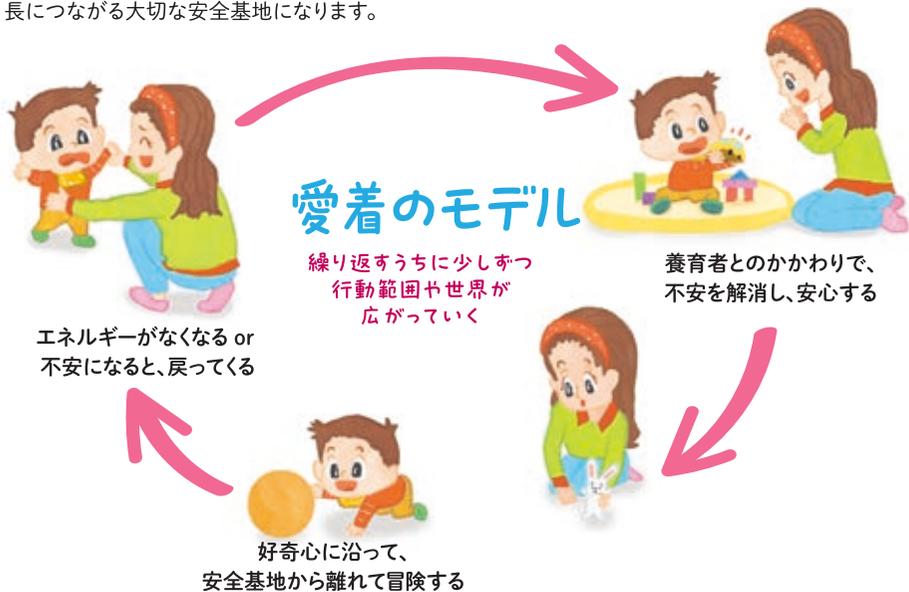


「好きな人」のことを知りたくて、自分をもっと知ってほしくて赤ちゃんは、視線や注意、快・不快の感情を共有しようとするようになります。この頃から親子関係は、お世話をする・されるだけでなく、情緒的な「深いかかわり」の関係になります。

MAIN QUEST

「安心」からの冒険 愛着形成 (アタッチメント)

クエスト1,2をクリアしてきた親と赤ちゃんは、メインクエストで生涯にわたっての発達的基础をつくれます。この特別な存在との情緒的絆を愛着(アタッチメント)といい、不安や混乱を解消し、次の成長につながる大切な安全基地になります。



ここまで来ると、あとは赤ちゃんの旅立ちと一緒に歩きながら、安全基地を崩さないことが私たち大人の役割になります。少しずつ離れて成長していくわが子をあたたく見守っていきましょう。

愛着の置き換え

幼稚園、こども園に入る頃には、親以外の人とのアタッチメントも構築できるようになります。アタッチメントは、生涯、カタチを変えながら継続していくのです。



QUEST 1. のポイント

赤ちゃんとのかかわりを大切に

- 1日に何回も替えるおむつ替えの時に話しかけたり、喋りながらあやしたり、とにかくかかわってあげましょう。話せなくてもちゃんと聞いています。
- 赤ちゃんは触れられることも大好きです。その接触は安心をつくれます。
- 胎児からの記憶があるので、母親の声は産まれた時には既に知っています。父親もかかわっていると赤ちゃんはちゃんと認識してくれます。最初は赤ちゃんの反応に違いがあるかもしれませんが、積極的にお世話をしておかかわりを持ちましょう。



QUEST 2. のポイント

赤ちゃんの情緒を読み取ろう

- 働きかけの際は、大人発信もいいのですが、“赤ちゃんからの反応”にリアクションするとより効果的です。一方的に話すより、声に返事するイメージです。もちろん、話しかけることもOKです。
- 赤ちゃんは“好きな人”の表情を頼りに世界を広げていきます。“好きな人の好きな人”は、自分も好きな人になっていくので、パートナーを含め、かかわる大人も信頼を築けるといいますね。



MAIN QUEST のポイント

安全基地をしっかりとつくて支える

- 安全基地をしっかりとつくて、冒険を支えてあげましょう。
- 冒険は、世界を広げる大事な行動です。送り出すこと、迎えること、どちらも重要です。



赤ちゃんクエストのまとめ

私たち人間は、かかわるようになってきています。赤ちゃんは産まれてから、かかわりを引き出すように力を発揮し、私たち大人はその赤ちゃんの「かわいさ」という魅力に引かれるようにかかわります。このクエストはどちらが欠けても成立せず、そして子どもが少しずつ“自分の冒険”を始めていくことがこのクエストの終わりです。子どもの冒険は続いていますが、一緒に冒険できる時間はそう多くありません。どれだけ大きくなっても、安全基地は必要です。しっかりと愛着形成し、子どもの冒険を見守りましょう。



人の育ちを木にたとえると、乳幼児期はねっこの部分。

しっかりと育まれたねっこは、やがて葉をしげらせ、

実をつけられるようになります。

乳幼児期は、ねっこが育つ重要な時期です。

乳幼児期は基本的な生活や自発的な遊びを通して、
幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(目に見えない力
=非認知能力)の基礎をじっくりと養うことが大切です。
そのことが基盤となって、認知能力(読み書き、計算、
知識など)も育っていきます。園の生活を通して、
目に見えない力をじっくりと養い、学校教育の基礎を
育んでいきましょう。幼児期の終わりまでに育ってほしい
姿は、幼稚園・こども園と小学校で共有しています。

乳幼児期に大切にしたいポイント!

遊びは乳幼児期にふさわしい学び

遊びはやってみたい!こうしたい!という本人の自発的な
思いからはじまり、ヒト・モノ・コトと直接関わりながら、
その中で頭も心も体も動かして、学んでいきます。まわりの
大人たちは、その子にとってよいなと思う環境を用意して、子どもたちが自ら育つように見守り、ときには
いっしょに、その時を楽しんでください。

生活リズムが大切

毎日の暮らしの中で、遊ぶ・食べる・寝るといった生活リ
ズムが整っていると子どもは機嫌がいい(脳がよろこん
でいる=情緒が安定している)のです。うまくいかない時
もありますが、一日を無事に終えて夜静かに眠ることが
できれば、明日への一日につながります。



学んだことを社会に生かす力
人間性など

実際の社会や生活で生きて働く
知識及び技能

未知の状況にも対応できる
思考力、判断力、表現力など

幼稚園からはじまる学校教育は、
上記3つの力を
バランスよく育みます。

健康な心と体

自立心

社会生活との関わり

自然との関わり・生命尊重

豊かな感性と表現

言葉による伝え合い

乳幼児期

協同性

道徳性・規範意識の芽生え

思考力の芽生え

数量・図形文字等への関心・感覚

こころのねっこ座談会
海外から見た京都の
幼稚園・こども園、
実際に通ってみて
どうですか？

京都の私立幼稚園・こども園には、様々な国籍、海外の生活経験をもつご家庭のお子さんが通われています。多様性が重視される今、グローバルな視点から、子どもの育ち、子育てについて座談会を開催しました。



ヨハネスハルキさん
父がドイツ人、母が日本人のハーフ。海外生活経験もあり3歳の長女がいる

のぞみさん
米国人と結婚し、2人の娘さんがおり、下の子が1歳の時に帰国し京都へ

アーニャさん
ウクライナより避難民として京都へ。幼稚園で英語を教え、子育てに奮闘中

リンさん
台湾から来日して13年。年少の息子さんと奥さんの3人暮らし

— あなたの母国と日本の幼稚園の
違いを教えてください

アーニャウクライナの幼稚園には教育という概念はありません。家で子どもを見ることができるなら、その日は欠席してもいいといった感じです。日本に来た時には、保育園と幼稚園の違いがわからず、どこに行けばいいのか迷いました。

— 台湾の幼稚園はどうですか。

リン台湾は、日本とあまり変わりません。日本時代の影響を受けていたので、何年前かまでは名前も日本と同じ幼稚園のままです。最近では、託児所と幼稚園が一緒になって名前も幼児園になっています。

— 日本では、幼稚園ごとに特色がありますが、台湾でも地域によって違いや、国全体で一貫しているものなどがありますか？

リン地域によって差がありますね。都市部では園庭や公園が少なく、都市から離れると園庭が大きく、森のような幼稚園もあります。

— アメリカの幼稚園はいかがですか？

のぞみ私が知っているのは、教会と一緒にしているバプテストキリスト教(最大宗派)の幼稚園です。

食育という概念がなく給食は、チキンナゲット、フライドポテト、ミルク、リンゴみたいな感じで栄養バランスはどうなってるの？ってすごく驚きました。それと子どもがお腹いっぱいになると、もういらないとゴミ箱にポイッと捨ててしまうのにもびっくりしました。日本の小学校のように教室やトイレをみんなで掃除することもないですし、あと体育祭や運動会、文化祭などありません。

— 何もなくても、仲がいいんですか。

のぞみ行事を通して団結を深めることがないので、ブロム(卒業パーティ)とかで親交を深めます。自分の好きな人と付き合っても集団というものがないので、共感とか共同性っていうのは生まれません。お遊戯も学芸会もないけれど、米国では、どの学校でも朝にはみんなで立って国歌を歌います。

— 愛国心が強いんですね。ドイツはどうですか？

ヨハネス僕は5年間ドイツで暮らしましたが幼稚園には通っていないので、ドイツ人が子どもをどう見ているかをお話します。自分の娘をドイツに出張する度に連れて行くと、まわりからよく娘と父親だけで移動できるねといった、少し違和感をもって見られることがあります。

— なぜ違和感があるのかわからないです。お父さんとお子さんが2人いることがドイツではあまりないんですか。

ヨハネスドイツでは、子どもはまだ論理性も、社会性もないから親がしっかり管理すべきだということです。子どものうちは親がしっかりと教育をし、親の世界観やロジック、ベースとなるものを与える。それがある程度の年齢になると、急に自分で考えろって言い始める。そこがドイツの面白おかしいところです。要は自分で意見を言って、自分で全て決められる人間を育てようということです。

— 国としてしっかりと哲学があるんですね。

ヨハネスところがドイツでは、すごく移民政策を進めていて、いろんな人が集まりすぎて、統制がきかず、京都では感じられるコミュニティ感のようなものが、希薄になっています。



ヨハネスハルキさん一家。家族そろってお着物で。

— 少子化ってどうなっていますか。

ヨハネス日本ほどではないですけど、徐々に子どもの数は減っています。世界の資源枯渇、気候変動、SDGsとかのストーリーがあると、さらに子どもをつくるのはやめようといったロジックがあるんです。**リン**台湾では、共働き家庭が多く、子どもを産むと経済的に余裕がなくなる。幼稚園から英語教育に力を入れ、私立の幼稚園に入れようとする和日本円で月に10~15万円ぐらいが必要です。

— そんなにも??

リン国の補助はあるけれど、補助だけでは収まりません。

ヨハネスドイツにも子どもを支援するお金や制度

は、日本よりもずいぶん充実しています。子どもを育てようといった政策がある。

— 環境への意識も高いですね。

ヨハネスそうしたことをちゃんとできるのがドイツ人だっという評判はあると思います。

— 幼児期以降の学校教育では、飛び級がないなど、日本ではきっちり段階が上がっていくように教えますがその辺の違いはありますか。

ヨハネス個人主義を大切にしようというところはずごくあります。要は年齢に関係なくこの人には能力があると先生たちが認めたら、一気に1級、2級と飛び級ができたりするんです。年齢に合わせて上げていこうという考えはあまりないですね。

— 年齢の違う子どもがクラスにいる感覚、そこに違和感はないですか？

ヨハネス日本では何歳みたいなのを、すごく意識しますが、ドイツで年齢を聞くのは後回しです。

— グローバルな視点から、
子どもの育ちに求めたいもの

日本でも幼稚園から早期の英語教育をしようとか、色々な考えがあると思うんですけど、皆さん海外から日本に来て、そのあたりはどう感じますか？

のぞみ私が思うのは、英語を言語として学ぶというより、考え方や人と話そうとするマインドが大事になると思います。第2言語を喋るとき、すごくおじけづくと思うんです。自分の気持ちをちゃんと相手に、伝えようとする気持ちやディスカッションをしようとする姿勢を育てて行くのがプラスになると思います。

— 英語だけを学んでいても、だめだってことですね？

のぞみ実際、海外に行ってネイティブの人と話す「私はこうだけど、あなたはどう思うの？」と聞かれることがよくあって、うんうんって聞いてばかりいると、なにか考えはないのとかよく言われました。

英語のクラスとかで楽しくするのは、すごく幼少期にはいいと思います。それと、並行して、自分の考えをもっと伝える場っていうのを学校とかでも教えて

いった方がいい。多くの体験がグローバルな将来につながると思います。

— 今、ウクライナでは、子どもたちは環境的にもすごく厳しい中で、生活そのものも制限されていると思います。アーニャさんは、子どもたちの育ちの場をどういう風に整えてあげたいとお考えですか。

アーニャ 私の国が戦争に巻き込まれている中で、私にとっては、子どもの教育が最も優先度が高いです。今、京都で通っている幼稚園は、すごくいい教育を受けていると肌で感じています。自分も主人も日本語が喋れないし、小学校に上がるときに、どのようにサポートすればいいのがすごく心配です。少し感じるのは、小さい頃から夜遅くまで塾に行かせたり、子どもに過度に期待しすぎたりしないということです。



アーニャさんご家族。鴨川でパチリ。

子どもは遊びも含めて、ナチュラルな環境下で過ごさせてあげたいですね。いい大学に入ったらい会社につける、そのために子どもの頃から勉強の習慣をつけないといけなく悩むところですが、もう少しのびのびとやらせてあげて、子どもの興味のあることに耳を傾けるのがいいかなと思います。

— とても共感します。親が子どもと過ごせる、その限られた時間を豊かにしてほしいというのが、この冊子「こころのねっこ」のコンセプトでもあります。

アーニャ 教育は、子どもが将来、経済的に豊かになるためのツールというのわかっています。日本の教育は、どうして塾とかで補完しないといけないの

でしょう。そんなに競争社会になる必要はないんじゃないのという疑問があります。自分が受けた教育と違うので、自分の子どもが、どのように過ごしていくのか少し心配です。

ヨハネス 日本は大変ですね。ドイツの場合は大学もほぼ無償です。日本には、国立とか私立、いろいろな大学があって、そこにあるブランド意識とか、そういうのが過剰に行きすぎて、少し歪んだシステムになっているのかなと。根本から見直さなきゃいけないことが多分、色々あると思います。

リン 私が個人的に思うのは、英語はもう目的じゃなくて、手段として、なにか別の言葉を喋る人もいるよと、別の文化や、ちゃんとした異なる暮らしをしている人がいるということ、子どもに認識させればいいんです。子ども言葉の勉強とか、私自身が痛感しているのは、もう自分の母国語を超える表現をするのは無理。結構難しいです。自分の母国語を豊かにしてから、また次のステップに他の言葉を勉強すればいいと思います。



リンさんと元気いっぱいな息子さん。

ヨハネス 言語には国際的な競争力を養うっていうのと、個々人の世界が広がるという2つの側面があると思うんです。個人が世界をもっと豊かに楽しむための英語であれば、いいと思います。それこそ、江戸前期まで教育で大切にされていた、地域、自分がどこから来て、どういう場所で生まれて、どのような歴史的な流れがあったかという、根幹の部分の教育があって、それを他の国の人に伝える言語として英語を学ぶのはいいと思いますが、そうした言語をわざわざ幼稚園まで時期を早めて、一生懸命教え

てっていうのが、僕はむしろ危険かなと思いますね。

— 皆さんのお話からは、様々な気づきがありますね。最後に、ご自身のお子さんに伝えたい思いがあれば教えてください。

のぞみ そうですね、ここに参加して、はっと思うことがありました。やっぱり、子どもに過度に期待しちゃうんですね。夫がアメリカ人で、私は日本人、いわゆるハーフです。ハーフの人って自分は果たしてどっちなんだろうと自分の存在意義を考えるタイミングがあると思います。もう自分の好きなように、アイデンティティを作って自分らしく、どの国に行ってもどの時代でも、自分らしく楽しく生きてくれたらいいかなって思います。



のぞみさんの娘さんたち。家族みんなで仲良くお散歩。

ヨハネス 日本とドイツとか色々比較できる立場にいて、恵まれたと思います。世界中から日本に人が来て、美しいとか、いいと言いますが、そうした日本の美、日本の地形だとか食文化も言語も全てが繋がっていると思います。雨ひとつとっても霧雨とか夕立だとかいろんな言葉があってすごく豊かな言語だと思います。そうしたコアにあるものを娘に伝えていきたいです。

リン 私は、台湾出身ですけど、今一番気にかけているのは、子どものアイデンティティです。日本で生まれ育ち、親が台湾人だから君も台湾人なのかといった疑問を持ちます。多分、子どもは、親のバックグラウンドをそんなに意識しなくてもいいと思います。自分なりに成長して、彼が将来的に自分は台湾人だと思ったら嬉しいですけど、やっぱり日本育ち、

京都育ちです。私と国籍は異なりますけれど、アイデンティティは、日本人であり、京都人と思ってもいいです。

アーニャ わが家では、ウクライナ語もロシア語も話します。息子は日本の幼稚園に通っているのですが、バランスは難しいですが、いろんな言語や文化を理解して、豊かに育ってほしいです。私自身は、大人になってからも自信がないので、自分の息子には、幼少期の頃から何事にも自信を持って取り組んでほしいですし、自分が夢に見ることは、なんでもできるということを教えたいです。そして日本の美しい四季や豊かな自然に、いっぱい触れさせてあげたいと思います。私が趣味にしている俳句も自然の1つです。そうした文化や豊かな自然、四季の移ろい様子を、子どもに伝えていきたいですね。

— アーニャさんが趣味にされている俳句を、この冊子で紹介させてください。

アーニャ 『山の丘の上でピクニック ジンジャーティの中で溶けている』

雪が降っていて、丘の上でピクニックをしているときに、雪が降ってきて、それが自分の紅茶に落ちる様子を(ウクライナ語で)詠みました。

— 素敵な俳句をありがとうございました。今回は、海外から日本の幼稚園・子ども園を見る視点や考え方、文化の違いなどを伺え、刺激いただきました。皆さんの話を参考に、子育てNo.1を目指す国際都市京都において、グローバルな視点をもって、一人ひとりのお子さんをのびのびと育てたいですね。



参加者の皆さんとこころのねっこ編集部とともに。

園で働く

先生に聞いてみました! あんなこと、こんなこと



日頃、幼稚園・こども園で働く先生ってどんなことを感じて保育をしているの?子どもたちと向き合っているの?ざっくばらんに京都府にある現場の先生たちに問いかけてみました。

日々保育する中で大切にしているのはどんなこと?

- 子どもの心を大切に
- 子どもが落ち着いて安心して過ごせる雰囲気作りに気を配っています
- 子どもたちに次の展開や見通しを与えられるように話しかけています
- 先生も一緒に楽しむ姿を見せること
- 声掛けのタイミングを1テンポ遅らせる
- 子どもたちが安心、安全な環境の中で「やってみよう!」「やってみよう!」と心が動く保育

保護者さんとのやりとり。いつも心掛けているのはどんなこと?

聞く姿勢

- とにかく聞く、ひたすら聞く
- 柔らかい言葉で話すことや、丁寧に子どもの様子を伝えること
- 他の保護者と同じ内容の話の聞く時でもしっかりと対応する
- どんなことに対しても誠心誠意向き合うこと

保護者さんへのエール

- 子どもの良いところはもちろん、気になることも相談する。保護者の方の気持ちも大切に
- 子育てに自信が持てるようポジティブな声掛けをする
- 保護者さんのことも褒める



保育者として一番やりがいを感じる瞬間はどんな時?

- 子どもが笑顔を見せてくれた時
- 出来ないという言葉を繰り返していた子どもに取り組もうとする姿勢が見られた時
- 「〇〇できたよ!」と子どもから報告に来てくれた時
- もう何度も繰り返し読んだ絵本でも子どもたちが目をキラキラさせて楽しんでいること
- 卒園式で保護者さんから感謝の言葉をもらった時
- 3学期末に「先生1年間ありがとう!」「また次も先生がいい!」と言ってもらった時

節目に...

「保護者のみなさん、心配しすぎです!」って思うことはどんなこと?

園での様子

- お友達と遊べるかな?と心配される保護者さんが多いですが、園ではのびのび身体を動かしながらお友達とたくさん遊んでいます!
- 子どもたち、お家では甘えたさんですが幼稚園ではがんばります

成長に関して

- 子どもは一人一人成長する速度が違う
- 早生まれでも大丈夫ですよ
- みなさん同じようなことで悩んでいます

苦手な食べ物はまだまだたくさん。自分のクラスの子どもたちが頑張って食べられるようになったものは?



自園の好きな場所は?



先生あるある! エピソード

自分の友達にまで過剰なオーバーアクションをしてしまう

落とし物の匂いを嗅ぐと、誰のものか分かる

たまにしか行かない所に限って子どもや保護者によく出会う

旅行中にも幼稚園があると遊具などを見てしまう

消防車やパトカーを見ると「あっ〇〇!」とつつい声が出る

無意識に声が大きくなってしまふ

植物を見るとこの花は色がよく出そうだなとか、形がおもしろいなといった視点で見えてしまう

家に帰っても先生口調

先生の好きなディズニープリンセスは?

- 1 アリエル
- 2 バル
- 3 ジャスミン ラパンツェル
- 4 シンデレラ...





斜めにそっと入れるのがコツなんです!!



ぼくの大親友を紹介します。
一眼レフのカメラが近すぎる～。



なかよし

影だってなかよしになっちゃうの!?



…何しているの? あっ、折り紙ね。

子ども目線で見える世界!?! 子どもが撮った&大人が撮った写真展

Question: 子どもが撮った写真はどれでしょう?



どう? 間近で見る、ぼく～。



あっ、帽子前じゃん…。



今日の変顔どう??



あの一、お花と私のツーショットですよ～。

子どもの感性っておもしろいですね (^o^)
こんな目線で世界を見ているって素敵!!



私立幼稚園・こども園は、子育てを ご家庭とともに歩むパートナーです

京都府内の私立幼稚園・こども園では、ご家庭の就労等の有無にかかわらず、毎日の子育てを頑張っている保護者の皆さんをサポートする、さまざまな子育て支援を行っています。

子育て支援の事例

**親子教室
未就園児保育**

友達ができた!

子どもが楽しめた

子育て相談
講演会
園庭開放 etc.

アドバイスが
もらった

気持ちが楽に
なった

満3歳以降は、 幼児教育の無償化が行われています

幼稚園やこども園に通う
子どもについて

幼稚園、こども園などを利用する
満3～5歳(満3歳の誕生日～
小学校入学前)のすべての子どもの
利用料が無償(月額上限25,700円)

幼稚園の預かり保育について

居住する市町村から
「保育の必要性の認定」を受けた方は
預かり保育の利用日数に応じて
日額450円、月額11,300円を
上限に利用料が無償

住民税非課税世帯の0～2歳の
子どもは、利用料が無償

京都府独自の取り組み

2歳児の保育支援事業

無償化の対象となる前の2歳児(満3歳未満児)にも利用料の減免制度があります。
令和6年度より、これまで第2子以降を対象としていた利用料の減免が第1子も対象となり、さらに充実。

減免額(月額上限)
第1子:3,000円 第2子:9,000円 第3子:18,000円

詳しくは
各幼稚園・
こども園に
お問い合わせ
ください



毎日がたからもの

草や木がおひさまの光を浴び、水や栄養を吸収して大きく育つように、子どもがお父さんやお母さん、あるいは身近な人からたっぷりと愛情を注がれ、一緒に笑ったり泣いたりすることで「こころのねっこ」が豊かに育ちます。

親にとっても、幼児期の子育ては自我が芽生え始めた子どもと向き合うという興味深い時期です。子どもが「イヤイヤ」をいいたしたら、自分を主張し始めた証拠。ヒトとして順調に成長している、まさにその瞬間に立ち会っているといえるのではないのでしょうか。大人にとっては手を焼くようなふるまいに見えても、子どもの気持ちを受け止め、こころのありように寄り添えば、むしろ微笑ましく、時には頼もしくさえも思え、子どもへの接し方も変わってきます。子育ては、子どもの成長に関わることで私たち大人も育っていく、とても貴重な機会でもあるのです。

私立幼稚園・こども園には子どもをまんなかにして、思いを同じくする仲間がいます。子どもと一緒に全力で遊んだり、子どもの活動を見守り、園での生活を支え、保護者の思いに寄り添う教職員、子どもが大きくなることの喜びを分かち合うパパやママ。多くの方が子育てに関わってきたその一日一日が、私たちにとって何にも代えがたい「たからもの」となっています。この大切な「たからもの」を未来につないでいけるよう、私たちはこれからも子育て真っ最中のご家庭を応援していきます。

子育ては 育てるつもりが 育てられ 大変な時が 大切な時
～京都の私立幼稚園・こども園は子どもと向き合うご家庭を支えます～

(公社)京都府私立幼稚園連盟

「京都にあるすべての
私立幼稚園の紹介」
サイトはこちらから

